

### 33 参考資料 1 ※税制改正等により、計算方法が変わる場合があります。

#### 【所得の計算方法】

所得額 = 年間収入額 - 必要経費（給与所得控除額等） - 下記諸控除

#### 【所得制限の限度額】 ※ 扶養親族等の数により、限度額が変わります

扶養親族等の数	本人	配偶者及び扶養義務者
	所得制限限度額	所得制限限度額
0	3,604,000 円	6,287,000 円
1	3,984,000 円	6,536,000 円
2	4,364,000 円	6,749,000 円
3	4,744,000 円	6,962,000 円
4	5,124,000 円	7,175,000 円
5	5,504,000 円	7,388,000 円

※所得制限における扶養義務者とは、同一世帯内での最多収入者をいいます。

※以下の場合、この所得制限限度額に加算されます。

#### ○受給者本人について

扶養親族等が6人以上の場合は、1人につき380,000円を加算。

70歳以上の同一生計配偶者又は老人扶養親族がある場合は、1人につき100,000円を加算。

特定扶養親族がある場合は、1人につき250,000円を加算。

#### ○配偶者・扶養義務者について

扶養親族等が6人以上の場合は、1人につき213,000円を加算。

老人扶養親族がある場合は、1人につき60,000円を加算（ただし、老人扶養親族のみのときは、1人を除いた1人につき60,000円を加算）。

※以下の控除額が所得額から差し引かれます（控除によっては所得要件があります）

- 雑損控除、医療費控除、小規模企業共済等掛金控除 → 控除相当額
- 配偶者特別控除 → 控除相当額
- 社会保険料控除 (受給資格者の場合) → 控除相当額
- (扶養義務者の場合) → 8万円
- 障害者控除 (本人除く) → 27万円
- 特別障害者控除 (本人除く) → 40万円
- 寡婦控除、勤労学生控除 → 27万円
- ひとり親控除 → 35万円
- 肉用牛の売却による事業所得 → 当該免除に係る所得の額

#### 対象のサービス

- ・ タクシー等・自動車燃料費の助成
- ・ 重度心身障害者医療費助成（県障）
- ・ 人工透析患者通院交通費の助成
- ・ 精神障害者入院医療費助成
- ・ 障害者用自動車改造費の助成
- ・ 介護者用自動車改造費の助成
- ・ 特別障害者手当
- ・ 障害児福祉手当

## 参考資料2

### 【障害者総合支援法の対象疾病（難病等）366疾病 一覧表】

番号	疾病名	番号	疾病名	番号	疾病名
1	アイカルディ症候群	64	眼皮膚白皮症	127	混合性結合組織病
2	アイザックス症候群	65	偽性副甲状腺機能低下症	128	鰓耳腎症候群
3	IgA腎症	66	ギャロウェイ・モワト症候群	129	再生不良性貧血
4	IgG4関連疾患	67	急性壊死性脳症	130	サイトメガロウィルス角膜内膜炎
5	亜急性硬化性全脳炎	68	急性網膜壊死	131	再発性多発軟骨炎
6	アジソン病	69	球脊髄性筋萎縮症	132	左心低形成症候群
7	アッシュャー症候群	70	急速進行性糸球体腎炎	133	サルコイドーシス
8	アトピー性脊髄炎	71	強直性脊椎炎	134	三尖弁閉鎖症
9	アペール症候群	72	巨細胞性動脈炎	135	三頭酵素欠損症
10	アミロイドーシス	73	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	136	CFC症候群
11	アラジール症候群	74	巨大動脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	137	シュエーグレン症候群
12	アルポート症候群	75	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	138	色素性乾皮症
13	アレキサンダー病	76	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	139	自己貪食空胞性ミオパチー
14	アンジェルマン症候群	77	筋萎縮性側索硬化症	140	自己免疫性肝炎
15	アントレー・ビクスラー症候群	78	筋型糖尿病	141	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症
16	イソ吉草酸血症	79	筋ジストロフィー	142	自己免疫性溶血性貧血
17	一次性ネフローゼ症候群	80	クッシング病	143	四肢形成不全
18	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	81	クリオピリン関連周期熱症候群	144	シトステロール血症
19	1p36欠失症候群	82	クリッパル・トレノネー・ウェーバー症候群	145	シリン欠損症
20	遺伝性自己炎症疾患	83	クルーゼン症候群	146	紫斑病性腎炎
21	遺伝性ジストニア	84	グルコーストランスポーター1欠損症	147	脂肪萎縮症
22	遺伝性周期性四肢麻痺	85	グルタル酸血症1型	148	若年性特発性関節炎
23	遺伝性膝炎	86	グルタル酸血症2型	149	若年性肺気腫
24	遺伝性鉄芽球性貧血	87	クロウ・深瀬症候群	150	シャルコー・マリー・トゥース病
25	ウィーバー症候群	88	クローン病	151	重症筋無力症
26	ウィリアムズ症候群	89	クロンカイト・カナダ症候群	152	修正大血管転位症
27	ウィルソン病	90	痙攣重積型(二相性)急性脳症	153	ジュベール症候群関連疾患
28	ウエスト症候群	91	結節性硬化症	154	シュワルツ・ヤンペル症候群
29	ウェルナー症候群	92	結節性多発動脈炎	155	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症
30	ウォルフラム症候群	93	血栓性血小板減少性紫斑病	156	神経細胞移動異常症
31	ウルリッヒ病	94	限局性皮質異形成	157	神経軸索スフェイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症
32	HTLV-1関連脊髄症	95	原発性局所多汗症	158	神経線維腫症
33	ATR-X症候群	96	原発性硬化性胆管炎	159	神経フェリチン症
34	ADH分泌異常症	97	原発性高脂血症	160	神経有棘赤血球症
35	エーラス・ダングロス症候群	98	原発性側索硬化症	161	進行性核上性麻痺
36	エプスタイン症候群	99	原発性胆汁性胆管炎	162	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症
37	エプスタイン病	100	原発性免疫不全症候群	163	進行性骨化性線維異形成症
38	エマズエル症候群	101	顕微鏡の大腸炎	164	進行性多巣性白質脳症
39	遠位型ミオパチー	102	顕微鏡的多発血管炎	165	進行性白質脳症
40	円錐角膜	103	高IgD症候群	166	進行性ミオクロウズスてんかん
41	黄色靭帯骨化症	104	好酸球性消化管疾患	167	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症
42	黄斑ジストロフィー	105	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	168	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症
43	大田原症候群	106	好酸球性副鼻腔炎	169	スタージ・ウェーバー症候群
44	オクシピタル・ホーン症候群	107	抗糸球体基底膜腎炎	170	ステイーヴンス・ジョンソン症候群
45	オスラー病	108	後縦帯骨化症	171	スミス・マガニス症候群
46	カーニー複合	109	甲状腺ホルモン不応症	172	スモン
47	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	110	拘束型心筋症	173	脆弱X症候群
48	潰瘍性大腸炎	111	高チロシン血症1型	174	脆弱X症候群関連疾患
49	下垂体前葉機能低下症	112	高チロシン血症2型	175	成人スチル病
50	家族性地中海熱	113	高チロシン血症3型	176	成長ホルモン分泌亢進症
51	家族性低βリポタンパク血症1(ホモ接合体)	114	後天性赤芽球癆	177	脊髄空洞症
52	家族性良性慢性天疱瘡	115	広範脊柱管狭窄症	178	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)
53	カナバン病	116	膠様滴状角膜ジストロフィー	179	脊髄髄膜瘤
54	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	117	抗リン脂質抗体症候群	180	脊髄性筋萎縮症
55	歌舞伎症候群	118	コケイン症候群	181	セピアブレン還元酵素(SR)欠損症
56	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	119	コストロ症候群	182	前眼部形成異常
57	カルニチン回路異常症	120	骨形成不全症	183	全身性エリテマトーデス
58	加齢黄斑変性	121	骨髄異形成症候群	184	全身性強皮症
59	肝型糖尿病	122	骨髄線維症	185	先天異常症候群
60	間質性膀胱炎(ハンナ型)	123	ゴナドトロピン分泌亢進症	186	先天性横隔膜ヘルニア
61	環状20番染色体症候群	124	5p欠失症候群	187	先天性核上性球麻痺
62	関節リウマチ	125	コフィン・シリス症候群	188	先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄症
63	完全大血管転位症	126	コフィン・ローリー症候群	189	先天性魚鱗癬

※最新の情報についてはお問合せください。

番号	疾病名
190	先天性筋無力症候群
191	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症
192	先天性三尖弁狭窄症
193	先天性腎性尿崩症
194	先天性赤血球形成異常性貧血
195	先天性僧帽弁狭窄症
196	先天性大脳白質形成不全症
197	先天性肺静脈狭窄症
198	先天性風疹症候群
199	先天性副腎低形成症
200	先天性副腎皮質酵素欠損症
201	先天性ミオパチー
202	先天性無痛無汗症
203	先天性葉酸吸収不全
204	前頭側頭葉変性症
205	早期ミオクロニー脳症
206	総動脈幹遺残症
207	総排泄腔遺残
208	総排泄腔外反症
209	ソンス症候群
210	ダイヤモンド・ブラックファン貧血
211	第14番染色体父親性ダイソミー症候群
212	大脳皮質基底核変性症
213	大理石骨病
214	ダウン症候群
215	高安動脈炎
216	多系統萎縮症
217	タナトフォリック骨異形成症
218	多発血管炎性肉芽腫症
219	多発性硬化症／視神経脊髄炎
220	多発性軟骨性外骨腫症
221	多発性嚢胞腎
222	多脾症候群
223	タンジール病
224	単心室症
225	弾性線維性仮性黄色腫
226	短腸症候群
227	胆道閉鎖症
228	遅発性内リンパ水腫
229	チャージ症候群
230	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群
231	中毒性表皮壊死症
232	腸管神経節細胞僅少症
233	TSH分泌亢進症
234	TNF受容体関連周期性症候群
235	低ホスファターゼ症
236	天疱瘡
237	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症
238	特発性拡張型心筋症
239	特発性間質性肺炎
240	特発性基底核石灰化症
241	特発性血小板減少性紫斑病
242	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)
243	特発性後天性全身性無汗症
244	特発性大腿骨頭壊死症
245	特発性多中心性キャッスルマン病
246	特発性門脈圧亢進症
247	特発性両側性感音難聴
248	突発性難聴

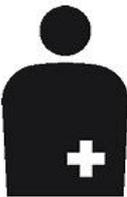
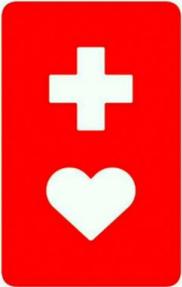
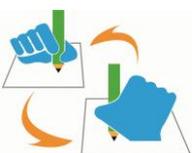
番号	疾病名
249	ドラベ症候群
250	中條・西村症候群
251	那須・ハコラ病
252	軟骨無形成症
253	難治頻回部分発作重積型急性脳炎
254	22q11.2欠失症候群
255	乳幼児肝巨大血管腫
256	尿素サイクル異常症
257	ヌーナン症候群
258	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/LMX1B関連腎症
259	ネフロン癆
260	脳クレアチン欠乏症候群
261	脳腫黄色腫症
262	脳表へモジゲリン沈着症
263	膿疱性乾癬
264	嚢胞性線維症
265	パーキンソン病
266	バージャー病
267	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症
268	肺動脈性肺高血圧症
269	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)
270	肺胞低換気症候群
271	ハッチンソン・ギルフォード症候群
272	バッド・キアリ症候群
273	ハンチントン病
274	汎発性特発性骨増殖症
275	PCDH19関連症候群
276	非ケトーシス型高グリシニン血症
277	肥厚性皮膚骨膜炎
278	非ジストロフィー性ミオトニー症候群
279	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症
280	肥大型心筋症
281	左肺動脈右肺動脈起始症
282	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症
283	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症
284	ビッカーストップ脳幹脳炎
285	非典型型溶血性尿毒症症候群
286	非特異性多発性小腸潰瘍症
287	皮膚筋炎/多発性筋炎
288	びまん性汎細気管支炎
289	肥満低換気症候群
290	表皮水疱症
291	ヒルシユスブルング病(全結腸型又は小腸型)
292	VATER症候群
293	ファイファー症候群
294	ファロー四徴症
295	ファンコニ貧血
296	封入体筋炎
297	フェニルケトン尿症
298	フォンタン術後症候群
299	複合カルボキシラーゼ欠損症
300	副甲状腺機能低下症
301	副腎白質ジストロフィー
302	副腎皮質刺激ホルモン不応症
303	ブラウ症候群
304	プラダー・ウィリ症候群
305	プリオン病
306	プロピオン酸血症
307	PRL分泌亢進症(高プロラクチン血症)

番号	疾病名
308	閉塞性細気管支炎
309	β-ケトチオラーゼ欠損症
310	ペーチェット病
311	ベスレムミオパチー
312	ヘパリン起因性血小板減少症
313	ヘモクロマトーシス
314	ペリー症候群
315	ペルーシド角膜辺縁変性症
316	ペルオキシゾーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)
317	片側巨脳症
318	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群
319	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症
320	発作性夜間ヘモグロビン尿症
321	ホモシスチン尿症
322	ポルフィリン症
323	マリネスコ・シェーグレン症候群
324	マルファン症候群
325	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多発性運動ニューロパチー
326	慢性血栓性肺高血圧症
327	慢性再発性多発性骨髄炎
328	慢性膝炎
329	慢性特発性偽性腸閉塞症
330	ミオクロニー欠伸てんかん
331	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん
332	ミトコンドリア病
333	無虹彩症
334	無脾症候群
335	無βリポタンパク血症
336	メープルシロップ尿症
337	メチルグルタコン酸尿症
338	メチルマロン酸血症
339	メビウス症候群
340	メンケス病
341	網膜色素変性症
342	もやもや病
343	モワット・ウイルソン症候群
344	薬剤性過敏症候群
345	ヤング・シンプソン症候群
346	優性遺伝形式をとる遺伝性難聴
347	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん
348	4p欠失症候群
349	ライソゾーム病
350	ラスムッセン脳炎
351	ランゲルハンス細胞組織球症
352	ランドウ・クレフナー症候群
353	リジン尿性蛋白不耐症
354	両側性小耳症・外耳道閉鎖症
355	両大血管右室起始症
356	リンパ管腫瘍/ゴーハム病
357	リンパ脈管腫症
358	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)
359	ルビシユタイン・テイビ症候群
360	レーベル遺伝性視神経症
361	レンチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症
362	劣性遺伝形式をとる遺伝性難聴
363	レット症候群
364	レノックス・ガストー症候群
365	ロスモンド・トムソン症候群
366	肋骨異常を伴う先天性側弯症

※最新の情報についてはお問合せください。

## 参考資料 3 身近で見かける障害者マーク

マーク	それぞれのマークの意味
	<p><b>身体障害者標識（障害者マーク）</b></p> <p>肢体に障害のあることを理由に免許に条件を付されている人が、その障害が自動車の運転に影響を及ぼすおそれがあるときに、運転する車に表示する標識です。やむを得ない場合を除き、マークをつけた車に幅寄せや割り込みを行った運転者は、道路交通法の規定で罰せられます。</p> <p>問合せ＝<u>警察署・交通課または最寄りの交通安全協会</u> Tel 025-521-0110 他</p>
	<p><b>聴覚障害者シンボルマーク（耳マーク）</b></p> <p>聴覚に障害のあることを表すマークです。聴覚に障害のある人が、自身の聴覚に障害のあることを自己表現するために考えられました。</p> <p>聴覚に障害のある人は、障害そのものが分かりにくい「声をかけたのに返事をしない」などと誤解されたり、不利益や危険にさらされたりするなど、社会生活の上で不安が数知れずあります。聴覚に障害のある人と話すときは「はっきりと口元を見せて話す」「筆談をする」などの配慮をお願いします。</p> <p>問合せ＝<u>社団法人 全日本難聴者・中途失聴者団体連合会</u> FAX 03-3354-0046</p>
	<p><b>障害者のための国際シンボルマーク</b></p> <p>国際リハビリテーション協会によって障害のある人が容易に利用できる建物、施設であることを明確に示すシンボルマークとして採択決定されたものです。個人の車に表示することは、国際シンボルマーク本来の主旨とは異なります。個人の車に表示した場合、障害のある人が乗っていることを周囲にお知らせすることはできますが、道路交通法上の規制を免れるなどの法的効力は生じません。</p> <p>問合せ＝<u>財団法人 日本障害者リハビリテーション協会</u> Tel 03-5273-0601 FAX 03-5273-1523</p>
	<p><b>視覚障害者を表示する国際マーク</b></p> <p>視覚に障害のあることを示す世界共通のシンボルマークです。このマークは手紙や雑誌の冒頭に、あるいは歩行用に自由に使用してよいとされています。</p> <p>横断歩道で、このマークが付いた歩行者用信号ボタンのある信号機は、視覚に障害のある人が安全に渡れるよう信号時間が長めに調整されています。</p> <p>問合せ＝<u>社会福祉法人 日本盲人福祉委員会</u> Tel 03-5291-7885</p>
	<p><b>ほじょ犬マーク</b></p> <p>他人に吠えないなど補助犬としての能力を認定された身体障害者補助犬（盲導犬、介助犬、聴導犬）が、公共の施設や交通機関、民間施設（デパートやホテルなど）でも同伴できることを知っていただくためのマークです。補助犬はペットではありません。肢体に障害のある人の体の一部となって働いています。</p> <p>問合せ＝<u>厚生労働省 社会・援護局</u> Tel 03-5253-1111</p>

	<p><b>オストメイトマーク</b>  人工肛門や人工膀胱を使用している方（オストメイト）のための設備があることや、オストメイト対応トイレの入口、案内誘導プレートに表示されています。  問合せ＝<u>社団法人 日本オストミー協会</u>  Tel 03-5670-7681</p>
	<p><b>ハート・プラスマーク</b>  身体内部（心臓、呼吸機能、じん臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能）に障害のある方は、長時間立っていることがつらいなど、日常生活に大きな支障がある方も多く、電車内で優先席を利用することもあります。ただ、外見から分かりにくいいため様々な誤解を受けることがあります。  このマークを着用されている方を見かけた場合は、内部障害について理解し、携帯電話の使用を控えたり、公共交通機関での優先席の利用などの配慮をお願いします。  問合せ＝  <u>内部障害者・内臓疾患の暮らしについて考えるハート・プラスの会</u>  Tel 080-4824-9928</p>
	<p><b>聴覚障害者マーク</b>  普通自動車を運転することができる免許を受けた人で、政令で定める程度の聴覚障害のあることを理由に当該免許に条件を付されている人が、運転する車に表示する標識です。やむを得ない場合を除き、マークをつけた車に幅寄せや割り込みを行った運転者は、道路交通法の規定で罰せられます。また、対象者が表示しない場合、道路交通法違反になります。  問合せ＝<u>警察署・交通課または最寄りの交通安全協会</u>  Tel 025-521-0110 他</p>
	<p><b>ヘルプマーク</b>  義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、または妊娠初期の方など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることができるマークです。  ヘルプマークを身に着けた方を見かけた場合は、電車・バス内で席をゆずる、困っているようであれば声をかける等、思いやりのある行動をお願いします。  問合せ＝<u>東京都福祉保健局障害施策推進部計画課</u>  Tel 03-5321-1111 FAX 03-5388-1407</p>
<p>①</p>  <p>②</p> 	<p><b>①手話マーク ②筆談マーク</b>  ろう者、難聴者、中途失聴者は音声に代わる、視覚的な手段でのコミュニケーション方法、手話や筆談が必要です。  このマークは、ろう者等自身がコミュニケーションの配慮を求めるときに提示することができます。  問合せ＝<u>一般財団法人全日本ろうあ連盟</u>  Tel 03-3268-8847 FAX 03-3267-3445</p>